

キャラクター名  
宇津田 志遠(うつだ しおん)

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー		ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	UGNチルドレン
	パロール					
オプション			年齢	16歳	性別	男
覚醒	渴望	衝動	飢餓	初期侵食率	36 %	
出自	犯罪者の子	経験	心の壁	邂逅	貸し：猫川美亜	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	58
肉体	2	0	3	12		17	行動値	6
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	6
精神	3	1	0			4	戦闘移動	11
社会	2	0	1			3	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	7		射撃			RC			交渉		
回避	1		知覚			意志	1	2	調達	4	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
フォールンブレイド		0	3	9		命中判定直前に使用でC値-1/この効果使用後のM値終了時に武器が破壊
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
思い出の一品	
情報収集チーム	
ウェポンケース	

合計装甲： 0    合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス：秘密兵器<トイボックス>	P	N		
桐生 嚙矢(OR/タイタス)	P たいせつなひと、だから	N 倒すべき相手		
中禅寺 覚(PU)	P 優しい人	N かわいそう		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 14    残り財産P: 13

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
時の棺	1	10	オート	視界	単体	自動	-	
効果： <対称：範囲>or<対象：範囲(選択)>を<対象：単体>に、シナリオ1回判定を失敗させる、シナリオ1回								
氷盾	3	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果： ガード値+[Lv*5](+15/+20)								
C:パロール	3	2	Xジャー				-	
効果： C値-Lv								
氷の回廊	1	1	マイナー	至近	自身	自動		
効果： 飛行状態で移動/移動距離+[Lv*2]								
氷の加護	5	3	マイナー	至近	自身	自動		
効果： Mインの間攻撃力+[Lv*2]								
バーニングハート	5	2	オート	至近	自身	自動		
効果： HPダメージ直後使用/シーン間攻撃+[Lv*2]/バースト暴走付与								
巨人の斧	3	3	Xジャー	武器	自身	対決		
効果： 攻撃力+[Lv*3]/判定D-2								
小さき魔眼	5	3	セット	至近	自身	自動		
効果： R中攻撃力+[Lv*2]								
氷の刃(炎の刃相当)	5	2	Xジャー	武器	-	対決		
効果： 攻撃力+[Lv*2]								
ディメンジョンゲート	★	3	Xジャー	至近	効果参照	自動	-	
効果： 遠く離れた空間を接続！								
ポケットディメンジョン	★	-	Xジャー	至近	効果参照	自動	-	
効果： ありえないはずの空間を生み出す								
凍結保存	★							
効果：								
効果：								

メモリー：懐かしの日々(対象:桐生嚙矢)  
感情(OP:幸せだった頃/N:もう戻れない日々)  
今がどうであれ、あの日、二人が友達だったことは真実だ。僕らはあの温かな牢獄で、二人だけが世界だった。きみさえいれば、よかったんだ。

-----

UGNチルドレン。友達が少ない。  
小中学生時代はUGNで訓練を受けていたため、まともに学校に通えたのは高校生になってから。

父親は元々UGN職員であったがFHに心酔しており、ある時、拘束されていたFHセルリーダーを勝手に解放させてしまった。  
志遠の生まれる前の出来事であり、彼は生まれてからずっと犯罪者の子として遠巻きにされている。

そんな彼の友人となったのが桐生嚙矢である。彼とはUGNチルドレンとして施設にて訓練を受けている際に出会い、親しくなっていった。

遠慮しがちで、自己犠牲の強い性格。自分の意見もあまりない。  
家族の愛を知らないで育ち、チルドレン時代の学友たちも次々と消えたため、今あるものや仲間をどうにかしてでも守ろうとしている。

桐生に関しては、まだ育ち切っていない未熟な感性のまま、おぼつかなくも友として慕っている。一番失いたくない人。彼の死を告げられたとき動揺の中、彼が死ぬはずないと思って桐生を探している。

そんな彼と再び会い見えたが、もう道を共にすることはできなかった。止められなかった彼の<望み>により、世界は一瞬の後に変貌を遂げた。最悪の形で。